

平成18年12月 定例教育委員会 会議録

平成18年度塩尻市教育委員会12月定例会が、平成18年12月19日、午前9時30分、塩尻市文化会館に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 1月の行事予定等について
報告第2号 後援・共催について
報告第3号 市議会12月定例会報告について
報告第4号 平出遺跡公園ガイダンス施設のオープンについて
報告第5号 図書館インターネット予約サービスについて

4 議事

- 議事第1号 塩尻市生涯学習プランⅡについて
議事第2号 教育委員会予算重点施策について

5 その他

- その他第1号 高出保育園建設用地の選定について

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	百 瀬 哲 夫	委員長職務代理者	丸 山 典 子
委員	岡 本 た ま	委員	村 田 茂 之
教育長	藤 村 徹		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	赤 羽 修	こども教育部次長	丸 山 保
こども課長	中 島 誠	家庭教育室長	樋 口 千代子
生涯学習部長	武 居 和 雄	生涯学習部次長	神 戸 保
社会教育課長	白 木 進	平出博物館長	小 林 康 男
スポーツ振興課長	竹 原 次 男	男女共同参画課長	山 田 昭 文
人権推進室長	青 木 弘 貴		

○ 事務局出席者

教育企画担当課長	小 島 賢 司	学校支援係長	羽 多 野 紀 子
----------	---------	--------	-----------

1 開 会

百瀬委員長

皆さんおはようございます。それでは12月の定例教育委員会をただいまから始めます。

寒くなってまいりまして、私ものどを痛めてしまい3週間になります。声が聞き取りにくいと思いますがよろしくお願ひいたします。

協議会の予定もありますので、定例会は11時までの予定でお願いしたいと思ひます。議事進行にご協力をお願いいたします。

2 前回会議録の署名

百瀬委員長

それでは、次第に従ひまして2番の前回会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

小島担当課長

前回11月定例会の会議録がまだ間に合ひません。前々回の会議録の署名を後ほどお願いいたします。

前回の会議録は、おって送付しますのでよろしくお願ひいたします。

百瀬委員長

前々回の会議録までできているということで署名をとということですが、よろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

百瀬委員長

はい。それでは3番の教育長報告に入ります。

3 教育長報告

百瀬委員長

はじめに教育長から総括的な報告をお願いいたします。

藤村教育長

おはようございます。

委員長からもありましたが急に寒くなってまいりまして、体調等かぜをひかないようお互いに気を付けたいと思ひます。

12月の定例会では、代表質問もあり教育に関して多くの質問が出されたわけですが、特に教育委員会のあり方について、いろいろな論議がありました。これから大きな課題として、十分に論議していく必要があると思ひますので、話題等出していただく機会があるかと思ひますがよろしくお願ひいたします。その他、いじめの問題が大勢の議員さんからご質問いただいたわけですが、非常に難しい問題ですが市としてもアンケート調査をしたり、また、それを元に各学校でも熱心に取

り組んでいただいている状況です。

先日、有名人の訃報の欄を見ていましたら、「念ずれば花開く」で有名な坂村真民が老衰のため亡くなったという記事がありました。この12月の11日に97歳で亡くなったということでもあります。その記事を見ながら、いじめも社会問題になっているわけですが、この坂村真民は農民詩人とも言われるわけですが、詩の中で思い出した大変好きな詩の一つですが、「二度と無い人生だから」という詩がございます。読んでみますが「二度とない人生だから、一輪の花にも無限の愛を注いでいこう。一羽の鳥の声にも無心の耳を傾けていこう。二度とない人生だから、一匹のコオロギでも踏み殺さないように心していこう」というような詩ですが、命あるものへの惜しみない愛とか、あるいは感謝がにじみ出ている、慈悲の心の尊さを教えられる詩だと思います。子ども達にも、今こそこんな気持ちをしっかり植え付けていかなければいけないと感じながら、坂村真民の訃報の記事を見たということでもあります。塩尻からは、そういう悲しい子どもが出ない事を祈りながら、念じながら学校と共に子ども達の成長に努力をしていきたいと思えます。

そのほか報告については、担当から申し上げます。

○報告第1号 12月の行事予定について

百瀬委員長

それでは、報告第1号、1月の行事予定についてお願いします。

こども教育部。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 9日に市町村教委連絡会があり、委員長の出席をお願いします。
- ・ 12日に、市町村教委協議会があり、教育長と共に委員長の出席をお願いしたい。
- ・ 次回の定例教育委員会は、25日の午後、ご都合がございましたらお願いしたい。

百瀬委員長

生涯学習部お願いします。

神戸次長

(資料に基づき説明)

- ・ 7日に成人式があるのでお願いしたい。対象者8百数十名だが、約600人の参加だと思う。
- ・ 28日にスケート大会がある。寒い中だがよろしくお願いしたい。

百瀬委員長

はい、質疑等ございましたらお願いいたします。

1月4日は、賀詞交換会がレザンであり、教育委員には通知が来ていますからよろしく申し上げます。10時半でしたか。

小島担当課長

10時半からです。

百瀬委員長

定例教委育委員会は、25日の午後ですがどうですか。

岡本委員

午後は、なん時からでしょうか。

小島担当課長

1時半から定例会、その後協議会をお願いし、夕刻から教育委員さんと事務局の新年会ができればと思います。毎年開催していますので、今年もぜひそのような計画をさせていただきたいと思います。新年会は5時半くらいから開催したいと思います。時間は、ご連絡いただければ調整させていただきますのでよろしくお願いいたします。

百瀬委員長

それでは、25日の1時半から定例会、その後協議会で5時半からは新年会ということで予定させていただきたいと思います。その後変更があれば、事務局から連絡をするということをお願いします。

○報告第2号 共催後援について

百瀬委員長

それでは、報告第2号、共催後援について、こども教育部からお願いします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 例年、後援している3件をお願いします。

百瀬委員長

はい。スポーツ振興課お願いいたします。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 3件お願いします。
- ・ 24号は、松本歯科大が当番にあたり、閉鎖中の小坂田の多目的運動場での開催を特別に許可するもの。12月23日から3日間くらいはラクビーで、3月17日から24日の間で3日間はアメリカンフットボールの大会が予定されている。

百瀬委員長

はい。社会教育課お願いします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 俳句大会1件で毎年開催されているもの。

百瀬委員長

はい。質疑等はよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

それでは次に進みます。

○報告第3号 市議会12月定例会報告について

百瀬委員長

報告第3号、市議会12月定例会報告についてお願いいたします。順次、各部から報告をお願いします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・ 5ページの鈴木明子議員は、塩尻市が6か月から預かっている保育について、それ未満の子どもについてどうするかというもの。民間を含めて検討していくとした。
- ・ 厚労省と文科省が合同で考えている放課後子どもプランは、内容が分かった段階で協議会等でご協議いただき検討する予定。
- ・ 伊藤議員には、いじめについて先般のアンケートの内容を回答した。英語教育は、今後拡大する趣旨。学校支援ボランティアは、現状の報告をした。檜川小学校の今後は、木曾檜川小学校で可決された。
- ・ 教育行政、教育委員会のあり方は、何人かの議員さんから出されている。制度がわかりにくいこと、教育委員さんの活動内容からの質問と感じている。協議会等で活動内容についてご協議いただければと思う。
- ・ ホームページは、今後出していくこととした。
- ・ 9ページのいじめはアンケートの結果を答弁した。11ページのいじめは、何人かの議員さんからあったが、子どものSOSの発信をどんな風に受けるかで、情報を出しやすい環境づくりをしろということで、相談窓口として家庭教育室、教育センターの相談員が対応し、電話については常駐はしていないが対応としては24時間体制としていると答弁した。
- ・ PTAの男女比は、バランスがとれるよう役員配置をとるもの。
- ・ 12ページの小野議員は、いじめの視点を変えた質問だったが、市Pの懇談会で報告したウェブ上の問題を報告した。
- ・ 14ページの軽度発達障害は、元気っ子応援事業を創設したこと、臨床心理師等の支援体制の対応をしていることを答弁した。
- ・ 樋口議員の基本法は、記載のとおり。いじめの実態は、他の議員と同様
- ・ 16ページの給食業務委託は、ちょうど100食が金額的な境としている点を答弁し、応援体制をとることとした。
- ・ 野村議員の病児、病後時保育は、医師会の協力がなければできないため、調整を進めるとした。
- ・ 森川議員の少子高齢化は、現状の内容を答弁した。有害自販機は、地元も組織をつくって対応したが設置されたため、条例化ができないかとするもので、一自治体では難しく条例により撤去された例はないが、抑止力にはなるとい

うことで、県レベルでの対応を望むことを答弁した。

- ・ 井野議員の安全対策は、現状を報告した。
- ・ 丸山議員の子育て支援10年の歩みは、記載通りに状況を答弁した。
- ・ 20ページは、市民交流センターに子育て支援センターあるいは青少年の施設をつくっていただきたいとするもので、その際は大人ではなく子ども達が造り上げていき、利活用が図られるよう組織化されたいとの質問内容
- ・ 中村議員のAED設置は、実施計画でもゼロとなっているが、質問は救急車が到着するまでの時間によっては効果があるとの質問で、子ども達も操作できるとの指針が8月に発表されたので検討するもの。予算編成のなかで救急車の到着に時間がかかる洗馬小、宗賀小、両中、檜川関係への設置を検討していく。
- ・ 武居議員の工事に関しては、今後庁内の連携をとっていくこととした。
- ・ 丸山議員の運動プログラムは、拡大をお願いしたいとするもの。

百瀬委員長

はい。ありがとうございました。

一旦ここで切らせていただいて、質疑等がありましたらお願いいたします。教育委員会のあり方については、後ほどの協議会で意見を出していただくこととして、それ以外についてお願いいたします。

丸山代理

6ページの伊藤議員さんの英語教育についてですが、以前に申し上げたかもしれませんが、何校かの授業を拝見してAETの先生方が効果的に授業を展開しているようには見受けられないと思いました。発音等もネイティブの発音を子ども達が復唱しますが、同じように発音しているようには見えません。カリキュラムにも関わるとは思いますが、有効に活用できるようお願いしたいと思います。西小学校でも先生から独自の内容をやっていきたいと希望が出ていましたが、1校1名の配置が活かせるよう、全体のバランスを見ながら年間を通して授業が展開できたらと思います。

岡本委員

その事に関連してですが、たまたまある中学校でAETが関わる英語の授業と日本人の先生だけの授業を観させていただいて、先生の持ち味にもよるとは思いますが、どうも日本人だけの先生の授業の方が生き生きとしていた感じがありました。

連絡会等で十分研究されているとは思いますが、なお一層の研究をしていただきたいと思います。それと小学校では週1回の英語活動の時間があって中学校で英語の授業が始まりますが、今の英語の授業は週3時間と聞いています。週5日制のなかの3時間ですから毎日ではないわけです。週に1時間から3時間と3倍になりますが、内容はもっとすごい量になっていますので、そここのところがどうもスムーズにっていないのではないかと思います。小学校の週1時間の英語活動を活かしていくのであれば、もう少し中学校で総合的な学習の時間を使って英語の時間を少し

増やせないかと思います。増やしていくことによって、AETと生徒だけの時間というものをとれるのではないかと、そうするとAETが配置されている効果が出てくるのではないかと思います。

百瀬委員長

ほかにいかがですか。

村田委員

市議会を傍聴する機会がなくてインターネット経由でみていましたが、いじめの問題については、各議員の方々がおっしゃっている中で今回はどちらかというと「実施しました」と「その結果を」というものでしたが、次のアクションをどう考えるかが問われることになると思います。協議会の事項になるのか、多分今も進めていただいていると思いますが、さらに十分期待に応えられる対応をすることが基本だと思います。

それから、インターネットをみていて思ったんですが、一つの質問事項のストーリーミング時間が長いですね。議会を傍聴しているくらいに長い時間を要してしまいますし、早送りがダウンロードする時にできないのももう少し知恵を使って欲しいと思いました。情報提供側の対策ですし、出しているからよいってものではなく、テーマ別に切ることにはできないと思いますが、もう少し答弁を分割してやる必要があるんじゃないかと思います。ご検討をお願いします。

百瀬委員長

インターネット配信は、私もそう感じています。最初から早送りができたらと思います。

丸山次長

関係ない部分がありますし。

赤羽部長

飛ばすことができないですからね。

村田委員

高速化が進んでますから、最初にバッファリングすることに対してもっと他の方法があるはずですよ。

丸山次長

セクタで切って送ればいいですけどね。

百瀬委員長

ほかの自治体はどうですか。

赤羽部長

動画は少ないと思います。

村田委員

そうですね。そうした部分はありがたいと思っています。

百瀬委員長

ほかにはよろしいですか。

岡本委員

11ページのPTAの役員構成について、以前私も同じようなこととお話したことがあると思いますが、これから早寝早起き朝ごはん読書や家庭教育の重要性を周知して家庭の協力を得ていくためには、お母さんだけではなくお父さんもPTAの場に数多く出てきていただきたいと思います。今、授業参観とかPTAを観てもほとんど女親の方が多く出てますので、この比率を何とか変えられないだろうかと思ひまして、どうすればよいかということなんですが、学校に働きかけていただいて例えば学級の役員の5人の中で一人か二人は男親を入れるように、そういったことをPTAの上の方からもって行って欲しいと思います。クラス役員を決める際にお話しいただくとか、そういう働きかけをやっていただけないだろうかと思ひました。どうしても親は、余裕がなく役員の人数を決めるだけになってしまいますので、自分たちではなかなか考えられないと思います。習慣的にクラスの役員の内一人は男親を入れるようにと申し合わせがあれば、そういう方向に向きやすのではないかと思いますので検討をお願いしたいと思ひます。

村田委員

13ページの中野議員の教育委員会と学校評議員ですが、学校評議員は学校の状況を客観的に評価される立場だと思うんですが、そういう認識でよろしいんですか。

藤村教育長

評議員制ができた趣旨は、校長、学校を応援する立場で、やはりそういう機関が必要ではないかとされたものです。そういう趣旨でしたが、人選にも問題がありまして最初は区長さんとか地区の役職の方をお願いする中で、なにか格式ばったなかでうまく機能しない面がありました。今は、だいぶ人選も変わり役職にとらわれずにされるようになりました。もう一つの役割は、学校の外部評価が必要だとされることから、その評価者としてきています。

百瀬委員長

現行の制度は、校長の求めに応じて意見を学校へ申し出ることが法律の趣旨となっていますが、どうもそれだけではと今の教育長の後半の部分が課題になっているようです。

藤村教育長

中野議員は、もう少し活躍してもらえないかとの意味で教育委員との連携が工夫できないかという考えで、これからこの点を検討してもらわなければいけないと思ひます。教育委員との懇談会を出前教育委員会の際に機会を持つとか、学校についての理解をお互いに深める形で学校の応援ができるような方向を考えていかなければいけないと考えています。

村田委員

体制なんですけれど、1校につきどれくらいの方がいらっしゃるんですか。

小島担当課長

6人から12人となっています。

村田委員

連携すべきところは、連携しないといけないと思います。

あと、22ページの武居議員の話ですが、この質問を拝聴してまさにずばりと切り出していると思っています。このあたりは、市議から、もしくは市民から観た場合は、積極的に捉えてどうしていくかということが重要だと思います。武居議員が一番その点を正攻法で問いかけていらっしゃると感じました。この意見を理解しつつ、具体的な対応が必要ではないかと考えています。これは感想ですけれど。

百瀬委員長

ほかにございますか。

丸山代理

7ページの伊藤議員の学校支援ボランティアですが、登下校の見守りの方は目にするようになりました。学習支援ボランティアとか授業の見守りボランティアは、学校の先生方との協力体制が必要で、いやがる先生もいらっしゃるとうかがいましたが、たとえば軽度発達障害の子どもなど授業の中で何人かの子どもをみていれば、もう少し授業が落ち着いてできるのではないかと思います。読み聞かせボランティアのような決まったボランティアは承知しておりますけれど、もう一步進めた形で積極的に学校にかかわっていくボランティアを再度募集したらと思います。ぜひお願いしたいと思います。

それから12ページの小野議員のウェブサイトの事ですが、先日美須々校の生徒の事件がありましたけれども、塩尻市内の中学校でも携帯を持っている子ども達が非常に多いので、このような例が表に出るようなことがありましたら、ぜひ早急に対処していただきたいと思いました。そのままにしておくと大きな事になってしまいますし、決して少ないことではないと思います。注意をうながすなどの対応もお願いしたいと思います。

百瀬委員長

ほかにございますか。(なし)

それでは、時間の関係もありますので、また随時お気づきのことを出していたいただければと思います。

生涯学習部関係をお願いいたします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 24ページの伊藤議員は、短歌フォーラムのあり方の質問で、21回大会から小中高の部を設けて塩尻らしさを出したいとした。
- ・ 森川議員の世界遺産は、たいへんハードルが高い事業で現在ある文化財を一生懸命守っていく方向で模索したいとした。

小林館長

(資料に基づき説明)

- ・ 25ページの樋口議員は、平出遺跡の整備についてで、記載のとおり回答し

た。

- ・ 永田議員の公園、周辺整備は、発掘体験の状況を答弁したが、学校単位で発掘体験が行えないか提案があり、事業の積極的な実施と答弁した。
- ・ 利活用への地域協力は友の会との連携を、物販等については方策の検討を、隣接住宅のプライバシーは協議をしていくことを答弁した。
- ・ 用地買収は23年度に完了する予定であり、これ以降協議をする中で買収計画を立てることを答弁した。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 27ページの伊藤議員は、SNRエリアへの総合体育施設整備だが、慎重な検討が必要と答弁した。
- ・ 古厩議員には、市立体育館の早期改修、総合体育館は交通の利便性と駐車場の確保について答弁した。
- ・ 28ページの小野議員には、体育施設に関するアンケート調査、県の計画策定状況をみながら基本計画を検討していきたいと答弁した。
- ・ 中野議員のアルプス展望ロードレースは、開催時期、内容を検討していくと答弁した。市立体育館については、避難場所となる場合があることを答弁した。

百瀬委員長

ありがとうございました。それでは、質疑等がございましたらお願いいたします。

村田委員

28ページの中野議員のアルプス展望ロードレースで個人的には以前子どもと走った記憶がありますが、何年くらい継続されていますか。

竹原課長

今年が14回大会でした。経過としては、高ボッチで行っていたものをみどり湖で開催するようになり、アルプス展望ロードレースということで片丘の山麓線で実施しています。

村田委員

ランニングブームということであちこちで開催されていますので、その中で位置づけと発展性をどう見るかだと思います。継続性の重要性和発展性を考えたときにどうもっていくかということですが、ぜひ検討していただきたいと思います。

竹原課長

実行委員会からも参加者の減少を含め、そういったところをどうしていくか懸念しておりますので検討を進めていきたいと思います。

村田委員

市民のためのという視点と外部から来ていただけることをいろいろな要因から判断していただければと思います。あっちでもこっちでもやっているとなると、広域的な所から観た特徴の優位さがないといけないと思いますので、市民向けなのか外

向けなのかの企画をはっきりさせていくべきじゃないかということなので、よろしくご検討ください。

百瀬委員長

ほかに。

丸山代理

関連してですが、水泳大会やスケート大会が学校でありますけれど、年々参加者が減ってきていますね。このあいだ校長先生と話しをしたときも「先生方が話しをしてもなかなか子ども達のがのってこない」とお聞きしました。私はやった方がいいとも思いますし、学校の中で連帯感とか一体感をつくるのにもよいと思います。スケートにしても学校の校庭でできなくなってきていますし、水泳も校内大会への考え方が変わり参加したり関わることに一生懸命で、スキルアップをするような授業をあまりしていませんので、市の大会に出てくるまでの力が付いていません。

学校でどういう授業を展開するか難しいと思いますが、開催するのであれば多くの学校からたくさんの選手が集まって競い合うことが必要ではないかと思います。なにか別の方法で良い企画がないかと思いますのでお願いします。

百瀬委員長

ほかにございますか。

岡本委員

今の意見に関連して、スケート大会を毎年観ていますが、朝日村とかの子ども達は学校のほとんどの子ども達が参加しているようで、決して上手ではないんですが、いつもの狭い校庭のリンクではない本当に良いリンクで滑ることを楽しみにしているように見えます。いつも思いますが、上を目指している子ども達だけのスケート大会だけではなくて、1シーズンに2回くらいしか練習に行かない子どもでも広いところで滑って見たらどうか、そういう機会を与えるとか、そういうふうに変えていかないと本当に特定の子どものための大会になってしまうのではないかと思います。無理なようであれば選手コースの子どもと一般の子どもを分けて競技するとかのやり方もあると思います。今は良いリンクが近くにあって借りられるわけですので、それを塩尻の多くの子ども達に体験させる趣旨で上手下手は関係なく、とにかくあまり体を動かさない冬の日、ちょっと寒いところに出ていって思う存分滑って見ないかというような企画に変えていけないかと思っています。検討をお願いいたします。

百瀬委員長

ありがとうございました。いろいろあるかと思いますが、この辺で一旦切らせていただきたいと思っています。担当の部課等で対応されると思いますが、教育委員会の中で中間報告的なことでよいと思いますので、報告していただければありがたいと思います。

○報告第4号 平出遺跡公園ガイダンス施設のオープンについて

百瀬委員長

それでは報告第4号に移ります。簡潔に説明をお願いいたします。

小林館長

(資料に基づき説明)

- ・ ガイダンス棟の工事を進めているが、建設費は約9千2百万円、展示工事費が約7百万円で約1億円の事業費となる。
- ・ 体験教室、ガイダンス、休憩等の機能を持つ施設になる。
- ・ 来年3月20日の竣工予定で、4月からオープンする。
- ・ 開館、休館日、時間は平出博物館に準じた設定をする。
- ・ 入館料は、実物展示がないこと平出遺跡の案内、体験教室に活用することから無料としたい。
- ・ 関連遺跡の情報提供は、県内の遺跡を予定している。
- ・ 印刷物、パネル、人的な案内、体験的な学習をして活用を図る。
- ・ ご意見をいただき庁議、全協で報告するための中間的な報告となる。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等がございましたらお願いいたします。

岡本委員

ガイダンス棟の職員体制は何人くらいの方が常駐されますか。

小林館長

予算取りの中で正規の職員はなかなか厳しいと人事の方から話しをいただいております。なので、博物館の一施設としての位置づけをし、博物館職員5名のほかに嘱託、臨時職員対応にしたいと予算要求しています。ただ単に一般の事務的な職員の方に努めていただくのではなく、考古学的な知識の豊富な方にぜひ来ていただきたいと思っております。予算が通りましたらそういう人選や交渉に入りたいと思っております。

百瀬委員長

よろしいですか。

岡本委員

嘱託の職員の方は、何人くらいを予定していますか。

小林館長

予算が通るかわかりませんが、2名を予定しています。

百瀬委員長

今後の対応の中に3月定例会への上程がありますが、その前に教育委員会へ条例案が出ますか。

小林館長

今、行政係と条例での設置が必要かどうか詰めています。必要でないときも管理規則が必要になりますので、その時点で教育委員会対応をお願いしたいと思います。

百瀬委員長

ほかによろしゅうございますか。

委員

(なし)

百瀬委員長

それでは次に進みます。

○報告第5号 図書館インターネット予約サービスについて

百瀬委員長

報告第5号、図書館インターネット予約サービスについて、説明をお願いいたします。

神戸館長

(資料に基づき説明)

- ・ 図書館資料をインターネットでパソコンや携帯電話で予約できるようになる。
- ・ システム上はすでにできるが、実施する時期を2月としたい。
- ・ 職員対応は、事務手間がかかるので1月中に詰めて2月からとするもの。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等がございましたらお願いいたします。

村田委員

これは他の自治体もやっていると思いますが、塩尻の特長はどこにありますか。

神戸館長

中信地区ではやっていないですが、諏訪広域と飯田市でやっています。飯田市へ視察に行ってやり方を教わりました。

村田委員

いつも言っていることですが、これで利便性が増しますとサービスの企画のところで、自治体側の都合で面倒な手続きになっていないか、全体が分からないので何とも言えませんが利便性というところをどこまで実現できるかっていうところをぜひ追求していただきたいと思います。

成果指数は、後で話しがあるかも分かりませんが、これによってどれくらい利用数が増えたのか測定していただきたいと思います。

丸山代理

直接、カウンターにパスワードの申請するというのですが、たとえばホームページにアクセスをして、利用登録をしていない人はいけませんが、利用登録をしいる人は申請ができるように考えていくことは難しいですか。

神戸館長

今それを考えていまして、それができればわざわざ登録に来ていただかなくてもいいですから。だいたいできると考えています。

丸山代理

わかりました。

村田委員

教育委員の視察研修で鶴ヶ島の図書館を観ましたが、ランチがあったときに本の配送はしてくれるんですか。一番最寄りの所まで。

神戸館長

配送は、地域の分館まではできますね。それは、毎日、今でもやっていますから。

村田委員

わかりました。ありがとうございました。

百瀬委員長

それでは、以上で報告事項を終わりにします。次に進みます。

4 議 事

○議事第1号 塩尻市生涯学習プランⅡについて

百瀬委員長

4番、議事に入りたいと思います。すでに10時40分を回りましたので、進行にご協力をお願いしたいと思います。

議事第1号を議題といたします。塩尻市生涯学習プランⅡについて、よろしくお願ひいたします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ これまでに2回定例教育委員会へ報告し、その後、社会教育委員会の意見を反映させてお手元にお届けしている。
- ・ 変更点は、目次に表紙の説明を加え、「改定にあたって」で全体を通した内容 を載せ4ページの下にあるように今どこを論じているか分かるようにした。
- ・ 13ページの余白に「これまでの公益」「これからの公益」として、第四次総合計画の協働の部分を入れた。
- ・ 14ページ下にも第四次総合計画のどこにあるかを示した。
- ・ 19ページ指標の子育てサークルの団体数は、市議会でもどこの団体かとあったので、子育て支援センターの登録団体数とわかりやすくした。
- ・ 21ページの青少年欄に交流事業の具体的な相手先を掲載した。
- ・ その他、大きな変更はなく、前回提示した内容となっている。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等ございましたらお願いします。

村田委員

個人的な意見ですが、これが長期プランとして進んでいくと思いますが、体裁だけですが表紙にサブテーマ、キャッチコピーがあってもいいと感じました。

それから17ページの図は苦勞されたことは分かりますが、看板の「塩尻百貨店」はどうもいただけないですね。百貨店は衰退するイメージがありますので、本来の利便性からコンビニの方がいいかもしれないと感じました。

あと、全般的に長期プランに対する指標化がもっと大きな意味での目標達成の指標になると思います。現実的なアクションプランにも評価指標は必要ですが、長期計画における指標の取り扱いについて、検討経緯がよく分からないんですがだんだん丸くなったというか、減ってきているのではないかという気がしてまして、長期プランとして大きな目標を達成することが塩尻市全体の計画に関連するとすれば、もっと明確に出すべき所は積極的に数値目標を出していく方がよろしいんじゃないかと感じます。

ご検討、ご対応は大変だと思いますが、これがたぶん今後やっていかなければいけない大きなポイントかと思いますのでよろしくお願いします。

丸山代理

20ページの少年期の早寝早起き朝ごはん読書運動ですが、予算重点施策の45ページの家庭教育室ではひらがなが使われています。これは市として進めていくもので、統一した方がよいかと思います。私は、漢字の方が視覚的にわかりやすく、ひらがなだと全部読まないといけないように思います。検討していただきたいと思います。

白木課長

20ページに早寝早起き朝ごはんシンボルマークがございまして、ここではひらがなを使っております。私もこの所は疑問に思いまして確認をしましたら、文科省で使っているシンボルマークはひらがなで、しかしながら文書は漢字だということで、その中のものを使わせていただいたのが正直なところです。

百瀬委員長

いずれにしても塩尻市として使っていきますので、それこそ縦割り行政だとか言われぬように、どこかで統一できたらしておいた方がいいと思いますね。夏の講演会の時のチラシは、ひらがなでしたね。

白木課長

たぶん両方使われていたと思います。

樋口室長

両方使い分けておりました。シンボルマークは、ひらがなでいきたいと思いますが、こういう形になると漢字でと使い分けております。子どもにとっては、ひらがなの方が良いのではないかと思いますので使い分ければと思いますが。

赤羽部長

使う場所によってではないでしょうか。

百瀬委員長

こういうかちっとしたものは、漢字が良くてということですか。

赤羽部長

児童にはひらがなとか。

百瀬委員長

対象に応じてでもいいですかね。

赤羽部長

私どもの読書はひらがなです。

百瀬委員長

そうですね。他にありましたらお願いします。

岡本委員

今からこういうことを言っただけでは怒られそうなんですけど、資料をいただいて最終的にまとまると思って気持ちを新たにもう一度最初から読んでみたら、気の付いたことが2、3点ありますのでお話ししたいと思います。

まず2ページですが、「生涯学習とは」の最初の所で「豊かで活力ある社会を築いていくためには」とありまして、「その成果が適切に評価される生涯学習社会を構築することが求められています」で、「生涯学習とは、このような」と続いていますけど、確かに生涯学習社会という言葉は一つの言葉としてあると思いますが、一般の人からみると生涯学習が保障されている社会が生涯学習社会と解釈される方が多いと思います。「生涯学習とは」の説明の中に生涯学習社会が最初に出てきてしまい、それを創っていかうとする上での方法として生涯学習があることは、ちょっと逆のような感じがしてわかりにくいのではないかと思います。ここの文章をもう少しわかりやすく、「生涯学習」があつてそのあとに「生涯学習社会」が出てくるような順番に変えた方がよいのではないかと思います。

もう一つは、15ページですが「施策の大綱」として、五つの項目に補足説明が付いています。例えば(2)ですと、「学習情報と相談体制の充実」とありまして、2行の中には相談体制に関わることがあまり出ていなかったりしますが、16ページを見ると表にしてあつてきちんと相談体制が出ています。なので、私は16ページを見た方がわかりやすかったんですけど、せっかく15ページを設けるのであれば、2行の項目についての説明をもう少し全体をきちんと網羅した書き方に工夫できないかと思いました。

3点目は、19ページですが、「第1項、ライフステージに応じた学習課題への取り組み」の上の2行ですが、「生涯各時期における学習課題を一つ一つ消化することです」と書いてあります。前段のところでは、生涯学習というのは「まず本人が自分の好きなときに各自が自発的意志に基づいて行うことが基本である」ということが最初に書いてあることを頭に入れて考えますと、「学習課題を一つ一つ消化することです」という書き方は、やはり自分でやれって言っているんだけど、学習課題というものがあつてそれに対して消化していかなければいけないような。私は、ここの所の文章でちょっと何か違うものを感じました。「一つ一つ消化していく」というのは、あまりイメージとして良くないのではないかと思います。

あと質問ですが、3ページのところで「プランの期間及び性格」の最初に推進構想の期間は9年間であるとして下の図からも分かりますが、第二段目のところで「なお、本プランは」と書かれ「新たに平成18年から平成21年度までの4カ年」と書いてあるので、この「推進構想」という言葉と「推進計画」、「推進プラン」とい

う言葉の辺がわかりにくいように思ったので、そこの所を説明していただきたいと思いました。

以上です。

百瀬委員長

ありがとうございました。今のご指摘いただいた部分について、今までのまとめる経過の中で議論があったとか、というような事で紹介していただいたり、一番最後の質問にお答えいただくと、そんな観点でお願いします。

白木課長

一番最後のところですが、期間は9年間で市の第四次総合計画に合わせたということです。プランに流れているものは基本構想でありまして、前期と後期の計画に分けさせていただきました。前期を4年間、後期を5年間としたものです。その検証について、ご意見もたくさんありましたので庁内的な連携を持ちながら、検証する上でも前期後期に分けさせていただいたという内容です。

それから、3点のご意見が出されました。一番はじめの2ページですが、読みとり方でご意見があろうかと思しますので、この場で揉んでいただければと思いますが、この点についてはこれまで特段意見はありませんでした。意見がなかったのかどうかということではありませんが、教育委員の先生方のご意見をいただければと思います。

15ページにつきましては、確かに相談体制について記述がありませんのでご指摘のように訂正させていただきたいと思います。

19ページなんですが、2ページと同様にこの場で揉んでいただければいいと思いますが、私共は「一つ一つ消化する」というのが負荷を与えることではなくて、各時期に当然修得しなければいけない学習課題があるのではないかな、それができていないからいろいろな問題が出てきているのではないかな、ということが論議の中でもありましたのでこのような標記にさせていただいたということです。また、ご意見があればお願いしたいと思います。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。お聞きしていかがでしょうか。

岡本委員

私もどういう風に変えたらよいかはありません。読んでいると変えた方が良いのではないかと思う程度です。言っておられることは分かりますが、書いたものに置き換えたときに、少し違う表現の方が良いのではないかということです。

村田委員

なにか本質的なギャップがあると思います。今のご説明の中で、推進される側としてはこういうことをやって欲しいという想いがあることに対して、市民側では自分で選択する自由意志みたいなものがあるわけですね。その時に消化という表現が押しつけに聞こえるからということじゃないですかね。学校に行っているみたいな。

岡本委員

そうですね。「学習課題を消化しなければいけない」と、2 ページで掲げた生涯学習の自由で自発的なイメージとくい違うのではないかと思います。

村田委員

そうですね。

百瀬委員長

19 ページの消化という文言について、もう少し良い言葉があればその方が良いということですね。事務局の部課長さん方からもご意見をいただきたいと思います。これで発表されるスケジュールはいつになりますか。

白木課長

これですべて良ければ、明日にでもホームページに掲載したいと思っています。教育委員会でOKがでたら、即日、公開し印刷して配布したいと思っています。

百瀬委員長

19 ページの消化というニュアンスと2 ページの生涯学習社会の構築との関連ですが。

武居部長

一つの例ですが、「学習課題に一つ一つ取り組むことが求められております」とか。いわゆる「心豊かな人生を送るためには」そういう時期に「学習課題に一つ一つ取り組むことが求められております」というようにすると求めていただくような表記になると思います。

村田委員

その方がやわらかいですね。

百瀬委員長

まあ、要するにそういうことですね。

武居部長

自主的にやれということでしょうか。

百瀬委員長

いかがですか。

藤村教育長

事務局の立場では、学習課題をしっかりと、ただ取り組むだけではなくてそこに解決を見いだしていく事をねらっているところです。この表記には、そうしたことが裏にあり、取り組むということは学習者の立場として結果を求められる事になると思います。

白木課長

19 ページは、今、部長が言いましたように「熟年期の生涯各時期における学習課題に一つ一つ真剣に取り組むことが大切です。また、」からは以下のとおりですが、こんなところでいかがでしょうか。消化は、どうしてもクリアしなければいけない強制力みたいなどころがありますが、未消化であっても真剣に立ち向かうことが重

要だという意味合いでいかがでしょうか。

武居部長

心豊かな人生を送るにはどうするかをここで言っていることだから、学習課題に一つ一つ取り組んでいただく事になると思います。

百瀬委員長

「送るためには」という書き出して始まるとすれば、結びの言葉が「求められている」は少し文章が良くないでしょう。「大切です」がどうかということですが。

岡本委員

「大切です」という表記がよいと思います。

百瀬委員長

そんな形で文言を整えていただくようお願いします。

相談体制の所はご意見のとおりということです。

それから、3ページのわかりにくいというところは説明がありましたかよろしいですか。

岡本委員

わかりました。

百瀬委員長

2ページの「生涯学習とは」については、これまでの経過の中では意見がなかったということです。これも「ためには」、「求められている」ですがいかがですか。

白木課長

終わりの3行は、無くてもいいですね。

百瀬委員長

その下に理念が4項目ありますね。これで「生涯学習とは」を具体的に説明しているわけですね。まあ、言い換えているようなことです。

小澤館長

(1)の始めの3行と(2)でも社会背景をいっていますが、社会背景は最初に説明すべきものだと思います。理念が先にきているので意味がおかしくなっています。必要性があって理念を述べるのが一般的です。

百瀬委員長

(1)と(2)がダブっていますね。(1)と(2)を一つにして、今の理念を後にする組み立てにすればと思います。

藤村教育長

「生涯学習とは」と「生涯学習なぜ必要か」が並列になっているからおかしくなっています。「生涯学習とは」には、時代背景があったほうがよいと思います。

百瀬委員長

そうですね。なぜ必要かを頭に持ってきて理念を続ける方がよいですね。

村田委員

そのほうが分かりやすいですね。

百瀬委員長

時間もだいぶたちますので、あとは事務局でまとめていただければと思います。

赤羽部長

それから3ページの岡本委員さんが言った一番下のところですが、「基本計画」になっているのでわかりにくいと思います。「前期推進計画」とすればということではないですか。

百瀬委員長

それが図の黒く塗られている部分ですね。では、そのようにしてください。

岡本委員

それと、さっき表現がダブっているという話がありましたが、3ページの「プラン改定の趣旨」も、上から4行目の下数行に同じ言葉が出ていますので、「プランを改定します。」から「そこで、生涯学習に関する」までは、1と2をまとめる中で文章を入れていただければ、その方が分かりやすいと思います。

百瀬委員長

確かに「改定します」と「改定しました」でくどくなっています。そんな形で整理をしていただきたいと思います。

白木課長

わかりました。

百瀬委員長

あと、体裁のことで村田委員さんからご意見がありましたが、ご検討ください。

白木課長

「百貨店」ですが、「コンビニ」でもよいと思っています。

赤羽部長

「デパート」でもいいですしね。

村田委員

こういうことには、いろいろな資質が求められますので。電通や博報堂ではありませんけど、読む方からはいろいろな視線で見ますから。

白木課長

上が「百貨店」で下が「デパート」に変わったらとも思います。

百瀬委員長

それでは事務局でご検討ください。文章をまとめることは容易ではありません。大変な作業ですが、再度熟読していただき整理が必要な文言は訂正していただければと思います。

そんなことで、議事第1号塩尻市生涯学習プランⅡにつきましては、この内容で教育委員会として決定したいと思います。よろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

百瀬委員長

ありがとうございました。

休憩をとらずに2時間近くきてしまいましたので、5分間休憩をとりたいと思います。

(休憩)

百瀬委員長

それでは再開したいと思います。

○議事第2号 教育委員会予算重点施策について

百瀬委員長

議事第2号、教育委員会予算重点施策について、を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。説明は、新規事業を中心をお願いします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・ 防犯カメラは、中古品を寄附していただいたので、抑止力を期待し各校4台設置する計画
- ・ 広丘小学校の耐震は、普通教室棟が旧耐震基準であるので対応したい。
- ・ 広陵中学校の駐車場は、恒常的な路上駐車があり学校要望もある。
- ・ 北部子育て支援センターと児童館分館は、現在のひまわり保育園を改修する。
- ・ 洗馬児童館は、今年、設計をし来年度建設する。
- ・ 30人規模学級は、来年度5学級を予定している。

百瀬委員長

続いてお願いします。

中島課長

(資料に基づき説明)

- ・ 給食調理業務委託は、現在の5園に吉田ひまわり、妙義保育園の2園を拡大する。
- ・ 育児支援として、市内2か所目の子育て支援センターを設置する。
- ・ 吉田児童館の分館を吉田ひまわり保育園の後利用で設置する。
- ・ 両小野小学校で行っている放課後児童教室について、市内との格差が大きいので辰野町へ依頼しているが、だめな場合は市内で開設したい。
- ・ 子どもの居場所づくりは、市単独で支援していく。

樋口室長

(資料に基づき説明)

- ・ 早寝早起き朝ごはんは、推進委員会作業グループで話し合っているが、講演会は長時間のテレビが子どもの脳に与える影響について講師を依頼したい。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 読み聞かせボランティアは、臨時職員を継続して雇い入れる。
- ・ 短歌フォーラムは、小中高生大会を12月上旬に開催し、選者として佐々木先生を予定している。
- ・ 文化会館運営事業は、金額を157,500千円に訂正をお願いする。
- ・ 重伝建整備事業は、木曾平沢地区の修景事業の伸びによるもの。
- ・ 贅川関所は、新規事業に訂正をお願いする。

小林館長

(資料に基づき説明)

- ・ 博物館事業では、全国15市が加盟する縄文都市連絡協議会の開催当番市であり、縄文サミットを6月30日、7月1日に開催する。
- ・ 公有化整備事業は、来年度9,200㎡の買い上げ、古代の農村整備として大型の復元住居を計画している。

山田課長

(資料に基づき説明)

- ・ ふれあいプラザの関係は、継続事業となる。
- ・ 豊かな心を育む市民の集いは、都市宣言のある、人権推進室、こども課で毎年持ち回りしており、来年は男女共同参画課が実施する。

青木室長

(資料に基づき説明)

- ・ 県内の都市人権同和教育事務連絡会の開催市となり、10月20日前後に開催する。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 小坂田公園、北部公園関係では、市民プールの安全性を高めるため流水プール関係のゴムチップ舗装等を実施したい。
- ・ その他トイレの改修、ゴーカート場の改修を予定している。
- ・ 体育施設では、体育館の耐震改修の設計委託等を計画している。工事では、体育館の耐震改修、市営球場の拡張、総合グラウンドの駐車場拡張、檜川運動場の雨漏り対策等を計画している。

神戸館長

(資料に基づき説明)

- ・ 分館の開館時間を拡大する。
- ・ 新しい図書館に向け蔵書の集積を図る。

百瀬委員長

ありがとうございました。新規事業を中心に説明していただきましたが、質疑等ございましたらお願いいたします。

岡本委員

ここに載っていないことですが、平成18年度の予算と比べるとキッズシェフ事

業がありませんが、継続はしないでしょうか。それから、木曾檜川小学校に統合されますが、スクールバスの運行費はどうなりますか。それとこんにちサポーターの傷害保険が平成18年度に計上されていましたが続けられますか。

丸山次長

キッズシェフ事業は、単年度事業です。スクールバスは、重点にはあげてありませんが計画しています。檜川地区と塩尻東地区の路線バスが無くなる関係でスクールバスの予算計上をしています。こんにちサポーターも拡大する方向で予算計上しています。

百瀬委員長

今回は、重点施策ということで提出していますから。

岡本委員

全部は載っていないわけですね。

丸山次長

そうです。スクールバスは、あげておいた方が良かったと思います。

百瀬委員長

ほかにありますか。

丸山代理

短歌フォーラムですが、以前NHKエンタープライズとの関係をどうするか考えるとのことでしたが、この計画の中では同じように考えているわけですか。

白木課長

今、検討委員会で協議しているのは、NHKの全国放送に対する考えをどうするかが一番大きな問題になっています。現在、私共としてはNHKありきではなくて、NHKも一つの業者さんという考え方でSBCにも声をかけご提案をいただいております。これについては、早晩ご相談させていただきたいと思っています。

NHKの全国ネットの評価をどう考えるかだと思いますが、今の委託料をはるかに下げながらもできるように検討しております。

岡本委員

関連してよろしいですか。

百瀬委員長

お願いします。

岡本委員

短歌フォーラムで、来年度は小中高生の短歌大会を一般と分けて12月に開催するということですが、これについてはどのような経緯で分けることになったのでしょうか。

白木課長

小中高も一般も投稿の締切が6月ということで、新学期が始まって期間がなく先生方の対応が難しくなっています。小中高校生の指導体制、短歌を作るまでの期間を延ばしたいということで、募集期間を後ろに下げたいということです。

それと、短歌フォーラムの当日も講演会ですとか選評の話の中で、子ども達が来てもその内容になじめないのではないかとということもございます。また、選者の先生方が多忙なことと12月まで来ますと意外に暇になること。そんな条件がありまして、一般で始まった短歌フォーラムですが、20回を重ねる中で小中高を独立したものであったらどうかとの意見が実行委員会の中でありました。予算についても、これまでにできる見通しがあり、思い切ってやってみようかというような話しです。

明日の校長会にもそのような考え方でお願いする予定です。

百瀬委員長

よろしいですか。

岡本委員

もう一つよろしいですか。短歌フォーラムは9月の末で、12月は短歌大会と名前も変えてやられるわけですか。

白木課長

名前をどうするかは、これからの話しですが、短歌フォーラムの一般の部と小中高の部とするのか、これから決めたいと思います。

岡本委員

選者の先生も12月にまた来てくださいますか。

白木課長

選者の先生は、一般の部の選者と後半の方は違う先生をお願いしたらどうかというふうなことを考えております。

百瀬委員長

ほかにありますか。

丸山代理

45ページの家庭教育室の生活記録手帳は、どのようなものを考えていますか。

百瀬委員長

お願いします。

樋口室長

現在、推進委員会の中に作業チームを立ち上げまして、検討しているところで。予算がどれくらいつくかですが、毎日記録してもらうのは大変なのでどのように記録していくかを検討しているところです。ご意見がありましたらよろしく願いしたいと思います。

丸山代理

P T Aとかで家庭教育ノートとか家庭教育手帳とかを予算と付けて配りますし、中学生は毎日学校でノートを書いていますね。でも、ちゃんと記録させること自体が大変で、もう少し良い方法がないかと思います。配る方は、一生懸命考えて作りますが、受け手がなかなか活用できない、活用する意味合いが伝わらない事もありますので配り物は難しいと思っています。

赤羽部長

生活記録と書いてありますけれど、実際には例えばカレンダーのような方式するか、一週間まとめてやるか、それは検討していきたいと思います。ただそんなに複雑な記録票ではないイメージは持っています。

樋口室長

最初は、賞品とかいろいろ考えましたが、児童生徒が担任の先生と協力しながら「よくやったね」と記録できる形がよいのではないかと検討しています。

藤村教育長

今、家庭教育が問われています。これは、子どもだけにやらせるのではなく、大人が責任をもってこれからやっていかなければ、現状はどうにもならないところに来ていると認識をしています。やっぱり家庭の大人が子どもを育てる気持ちになってもらわなければ、現状を打破できないと思っています。大人がこの運動に前向きに協力してもらう啓発が大事だと思っています。これから具体的な案について、その時々にご意見を聞きながら進めることになろうかと思いますが、やはり基本は家庭教育だと思います。難しいことをやるのではなく、当たり前のことをしっかりとやろうと親、大人が手本になって当たり前のことが当たり前でできる子どもに育てていく中で記録カードとかいろいろなことが出てくるとはと思いますが、基本になることだと思っています。

樋口室長

1月くらいに中間報告させていただきたいと思っています。44ページの元気っ子応援事業の中で各保育園で元気っ子相談をやっていますが、保護者と一緒にお子さんの育ちを観させていただいています。1時間の課題遊びの時に何回もあくびをするお子さんがいたり、あくびをしてかなり落ち着きのないお子さんが目立ちます。最後にお母さんと振り返りをするんですが、「お母さん、あくびを何回もしてたよね」と言うと「すみません」、「夕べ何時に寝かせたの」と聞くと「10時半」、すごいお母さんは「3時」と言うお母さんがいます。「3時に寝かした」とか「保育園休ませた」とか言います。「お母さん、これでお子さんすごい損してるよ」「早寝早起きすることによって、もっと集中力が付くんだよ」というようなお話しを一人一人にさせていただいていますので、元気っ子と早寝早起きの両方セットで良い事業が展開していければいいかなと思っています。

丸山代理

お話をうかがえば親にどう伝えるかということだと思います。親に伝える方策を考えたとき、保育園では取り組みがされていていいと思いますが、小中学校でもPTA講演会がどこの学校でも一回は開催されるので、「親の教育に関する講師の先生をぜひ選んでください」という形で依頼することができたらと思います。

去年の弁護士の坪井先生のお話しも良かったんですが、本当は子供を持つ親ごさんに聞いてもらいたいって思いますが、参集範囲が狭く公民館長や区長さんが聞くぐらいで、保護者が聞くことができませんので、各学校単位での講演会が活用で

きないかと思います。

百瀬委員長

他にいかがですか。(なし)

重点施策の査定はいつごろになりますか。

赤羽部長

理事者査定になりますので、最終的には2月の初めになるかと思います。

百瀬委員長

ほかの部を含めて2月ですか。

赤羽部長

そうですね。

村田委員

すみません、一点お願いします。この教育関係の予算は、グロスでいくらになりますか。

赤羽部長

記載は重点だけです。この部分はほんの10%あるかないかです。私共は人件費が大きいからです。

村田委員

また改めてお聞きします。

百瀬委員長

2月の定例教育委員会では、全体が出ますね。

丸山次長

はい。査定が終わりますから。

百瀬委員長

ご意見がありましたらそれまでに事務局へお伝えいただければと思います。

他にはよろしいですか。(なし)

それでは、議事第2号教育委員会重点施策について、これは査定を待っての決定と言うことでお願いします。重点施策としては、教育委員会として了承したという性格です。ありがとうございました。

次に議事第3号ですが、保育園の関係は基本的には、教育委員会の職務権限ではないものから、報告事項で結構だということで事務局にお願いしましたので、5番のその他のところでお聞きすることにしたいと思います。

議事につきましては、以上で終わりにしたいと思います。

5 その他

○その他第1号 高出保育園建設用地の選定について

百瀬委員長

それでは、5番その他に入りまして、高出保育園建設用地の選定について、お聞きしたいと思いますので、事務局からお願いします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・ これまで現地改築か新規の用地かという説明をしてきた。
- ・ 庁内的に実施計画の中で方向付けがされたので、市営球場北側の用地を借りて建設することとした。
- ・ 地主の内諾をいただき、設計に着手している。

百瀬委員長

はい。それでは質疑等がございましたらお願いいたします。

(なし)

よろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

それでは、本日の日程は以上ですが、他にございましたらお願いいたします。

藤村教育長

お願いします。「かかしの旅」という映画のチラシがお手元にあります。これは東座の合本こずえさんから紹介がありまして、ちょうど今、いじめが大きな問題になっているわけですが、いじめにあった一人の中学生が立ち直っていく映画ということです。ぜひ小学生の高学年から中学生に観て欲しいと、そういう願い、申し出がありました。そうはいつてもただ見せるわけにはいきませんので、この年末に試写会を東座でやっていただけるとのことで明日の校長会で日程を決めたいと思います。試写会は教職員、PTAの皆さん方を各校何人かお願いし、そこで検討していただいて1月から2月の半ばまでには実施し子ども達にぜひ見せたいと思います。実施は学校とPTAで実行委員会を作ってください、運営方法を検討していただいて実施するよう考えていますのでご了承いただきたいと思います。

百瀬委員長

それから資料を1枚いただいておりますが、いじめ関係をお願いします。

丸山次長

先般、アンケート調査を行いまして学校から上がってきた件数を塩尻市のいじめの件数とするということで進めています。12月21日以降ですが小学校3件、中学校3件の報告がありました。

小学校の関係につきましては、悪口が主なものであります。1番については、友達からの訴えで判って、今、家庭教育室、教育センター、学校が入って指導をしています。二つ目は、アンケートで把握した内容ですが、現在は和解し保護者にも説明し理解を得ています。学校としては、観察を続けています。三つ目は、これも悪口ですが保護者からの訴えで判りました。生徒指導によりまして、加害者が謝罪して現在は収まっています。

中学校の1ですが、メガネを壊されたものです。これは仲の良い友達のようにです

が、ふざけ合った最中にメガネが壊れ謝罪する、しないで仲が悪くなり、それが保護者同士のトラブルに発展しているものです。学校が仲裁に入りまして、現在、子ども保護者と継続して話し合いをしているということです。2番は、たかられているということですが、話し好きの子どもがいろいろ話すようですが、「証拠があるか」「証拠がなければ金出せ」とそんなことで、第三者の友達がそれを見ていて「お金をとられているじゃあないか」と先生に話しをして判った内容です。現在、保護者を含めて話し合いをもっています。加害者が謝罪したことで、現在は観察中となっています。3番は、暴力、脅し、たかりということで、厳しい表現をしていますが、アンケート調査の中で9項目の分類がありますが、その項目に学校が○をしているもので、内容的にはどの程度のものか分かりません。器物を持って相手を脅して、金を取ろうとしたものです。これは保護者からの訴えで判って、学校では事情聴取を行い生徒指導をしてきております。現在は、保護者を含めて対応し結論をみておりますが、こうした関係が陰に隠れて行われることが多いということで、学校としては注意深くフォローをしているところです。

明日は校長会がありますが、この報告をみれば「うちでもこういった事はある」と事例があがってくる可能性もあると思います。今後あがってきたものは、塩尻市としていじめの件数としてカウントしてまいりたいと思っています。今日現在で6件という解釈でお願いしたいと思っています。以上です。

百瀬委員長

これが市民タイムスの報道にあったものですか。

丸山次長

そうです。

百瀬委員長

質疑等はよろしいでしょうか。

委 員

(なし)

百瀬委員長

それでは、だいぶ時間が超過しまして、協議会の時間へずれ込みまして申し訳ございません。

6 閉 会

百瀬委員長

以上で12月定例教育委員会を終わりにしたいと思います。ご苦勞様でございました。

○ 午後0時06分に閉会する。

平成19年1月25日

署 名

委 員 長

同職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教育企画担当課長
